

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|--|---|-----------|------|-------------|----|---------|---------|----|----|
| 専門分野区分 | 情報処理基礎 | 科目名 | マネジメントと戦略 | | | | 科目コード | T1063A1 | | |
| 配当期 | 前期 | 授業実施形態 | 通常 | | | | 単位数 | 4 単位 | | |
| 担当教員名 | 琴川 泰則 | 履修グループ | 1E(MP/SP) | | | | 授業方法 | 講義 | | |
| 実務経験の内容 | セラミックス系企業にて研究職に従事し、主にセラミックス小径ビーズの開発に携わった。また、同期間に大阪の公的研究所でセラミックスの射出成型に関する研究も行ってた。 高校にてコンピュータ実習室の管理に5年ほど携わり、Active Directoryの構築、コンピュータ実習室の設計、運営管理などを行っていた。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | 企業で行う業務(タスク)で必要となる知識、技術を習得する。 授業と自宅学習を通じて習得した基本的な知識を組み合わせる力、応用する力を養い、過去に出題された基本情報技術者試験午前問題を授業内で解くことで自信を持つことが目標となる。 情報システムの構築において、方針となる経営戦略や情報戦略の理解とプロジェクトの効果的な運営が重大な課題となっている。それに伴い、情報処理技術者試験の出題内容も顕著に変化している。 本科目は企業活動における経営活動についての経営手法を理解し、現実の企業経営に対する理解、評価ができるようになることを目指す。当授業では、今後IT技術者を目指す人材の土台として、情報戦略とマネジメントの基礎知識を理解し習得するとともに基本情報午前免除修了試験の合格を目指す。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | ITパスポート・基本情報技術者資格の受験を意識し、知識の構築だけではなく、出題の傾向や解答ポイント、資格取得後の技術者としての展望など、テキストでは伝えきれない部分についても補填する。 資格取得に対する意欲が向上できれば尚好ましい。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 教科書:IT戦略とマネジメント(株式会社インフォテックサーブ)サブノート 参考書籍(問題集):基本情報技術者午前問題集(株式会社インフォテックサーブ) キタミ式基本情報技術者 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 特に無し | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 特に無し | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | 特に無し | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 1 | 「経営と管理」の基本用語と概念・考え方が理解できる・マネジメントの概要・必要性と基本的な用語が理解できる。 | | | | | | | | |
| | 2 | システム構築において、「経営と管理」の基本用語と概念・考え方を活用できる・システム構築において、経営戦略や情報戦略とマネジメントの知識を活用できる・知識を組み合わせ、基本情報技術者試験の午前問題の題意を理解し、解くことができるようになる。 | | | | | | | | |
| | 3 | 節度と常識のある態度で受講できる。 | | | | | | | | |
| | 4 | なし | | | | | | | | |
| 5 | 授業に関心や意欲をもって取り組むことができる。 | | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | | 1.知識・理解 | 20 | 15 | 15 | | | | | 50 |
| | 学部DP | 2.思考・判断 | 10 | 15 | 15 | | | | | 40 |
| | | 3.態度 | | | | | | | 5 | 5 |
| | | 4.技能・表現 | | | | | | | | |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | 5 | 5 |

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|----|----|--|--|--|----|-----|
| | 総合評価割合 | 30 | 30 | 30 | | | | 10 | 100 |
| 評価の要点 | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| 試験 | 前期定期試験で評価する。 試験は学習した範囲全般から出題し、基本情報技術者試験の過去問題、演習問題を利用して、資格取得に必要な基礎知識が理解できているかを確認する。 | | | | | | | | |
| 小テスト | 章末など基本情報技術者試験の午前問題で出題される用語について記述式問題を出題し、理解度の確認と補填を図る。 | | | | | | | | |
| レポート | 課題解決型授業においてレポート課題を実施する。 | | | | | | | | |
| 成果発表(口頭・実技) | | | | | | | | | |
| 作品 | | | | | | | | | |
| ポートフォリオ | | | | | | | | | |
| その他 | 授業に取り組む意欲・態度などを総合的に評価し、出席状況全般も評価する。 | | | | | | | | |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|---|--------------|-------------|
| 第1回 | シラバスの説明 第1部 企業と法務 第1章 企業活動／第2章 企業会計 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第2回 | 第1部 企業と法務 第3章 経営科学 ※3-1応用数学は省略 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第3回 | 第1部 企業と法務 第3章 経営科学 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第4回 | 第1部 企業と法務 第4章 法務と標準化 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第5回 | 第2部 経営戦略 第1章 経営戦略マネジメント 第1部確認テスト | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第6回 | 第2部 経営戦略 第1章 経営戦略マネジメント | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第7回 | 第2部 経営戦略 第2章 技術戦略マネジメント／第3章 ビジネスインダストリ | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第8回 | 第3部 情報システム戦略 第1章 情報システム戦略の概要 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第9回 | 第3部 情報システム戦略 第2章 情報システム企画 第4部 開発技術(一部抜粋) ※後期「システム開発基礎」で詳細に学ぶので概要のみ | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第10回 | 第5部 プロジェクトマネジメント 第1章 プロジェクトマネジメントの概要 第2部・3部確認テスト | 講義と質疑応答、問題演習 | |

| | | | |
|------|---|---------------------------|------|
| 第11回 | 第5部 プロジェクトマネジメント 第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第12回 | 第6部 サービスマネジメント 第1章 サービスマネジメントの概要／第2章 サービスマネジメントの手法 | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第13回 | 第7部 システム監査と内部統制 第1章 システム監査／第2章 内部統制 第5部・6部確認テスト | 講義と質疑応答、問題演習 | |
| 第14回 | 課題解決型授業 I アローダイアグラムの企業での活用事例レポート | 遠隔授業 実施時期:1期 (5月後半) | |
| 第15回 | 課題解決型授業 II AIを活用したマーケティングの事例レポート | 遠隔授業 実施時期:3期 (6月後半) | 別途指示 |